

プロだけが知っている、お金が増える

お金が

53の習慣

貯まる家には

ものが少ない

下村 志保美
SHIMOMURA SHIHOMI



扶桑社

.....
まだ着られる洋服を捨てることへの罪悪感

日常の中で、特に捨てるつらいと感じるもののひとつが、まだ着られる衣類です。

災害大国日本では、悲しいことに各地で大きな災害が起っています。そんな時、「被災された方のお役に立てれば」と不要になった衣類の寄付が集まります。その考え方と行動自体は素晴らしいと思いますが、実際には古着の寄付は断る自治体も多く、残念ながら余計な手間を生む結果になってしまいます。

また、親戚からの大量の子どもの服のお下がりに悩まれているお客様もいらっしゃいます。「要らなければ捨てていいから」と渡されたとしても、いただいたものを捨てるのは心が痛むもの。使えるものを捨てる罪悪感自分も相手も、誰も味わいたくないのです。

世の中には、本当に必要な人に確実にお役に立てる、またスピーディに気分よくものを手放すことができるサービスがあります。一覧にまとめてみましたので、ぜひ参考にさせていただきます。

8 家族のもの、実家のものを片づける方法

古着deワクチン

不要な衣類やバッグ、靴、服飾雑貨を送ると、「認定NPO法人 世界の子どものワクチン 日本委員会」を通じて、世界中の子どもたちにワクチンを届けることができます。

▶ <https://furugidevaccine.etsl.jp/>